

日本共産党区議会議員
Japanese Communist Party

安藤たい作

区政報告 ニュース 第27号

大崎短絡線問題・住民が見直し求める集会開く

JR東日本は甚大な損害と不安を 与える地域の声を誠実に聞くべき



改憲のための国民投票法案が国会で採決強行されました。やり方もさることながら、その内容も、改憲を
たい自分達にとって都合がいい要項がテンコもりで、
民主的な制度とはほど遠いものです。改憲派のやり方
はあまりにも姑息です。心の底から怒りをおぼえます。



漫画：安藤たい作

集会では、JR大崎短絡線整備事業
見直しに関する陳情・請願署名を集め
ることと、協議会の立ち上げの必要性
が提起され、確認されました。JRは
最短で来年1月の現行での計画実施を
狙っているとのこと。皆で声をあげて、
JR側にはきちんと地域の声に向き合っ
てもらおうではありませんか。

最短で来年1月の着工狙う

集会では地元国会議員より国会での質問や、JR側交渉の内容が報告されました。その上で私は「これだけ地域と社会に影響を与える計画を進める上でもう説明会を行わないとするJRの姿勢はあまりにも傲慢です。地域の声に誠実に耳を傾けるべきで、そのためにもこの計画に不安を抱えている多くの方々の声を集めて示していくことが大きな力になると思います。」と発言しました。

JRは地域の声に真摯に耳傾けるべき

JRは地域の声に真摯に耳傾けるべき
「利便性の向上」を錦の御旗にし、この短絡線
を通し、なるべく低コストで湘南新宿ラインの増
発を狙うJR東日本。一方で地域住民には、騒音
や鉄粉飛散、開かずの踏み切りなど甚大な被害と、
福知山線に続く大事故発生への危険性に対する不安
を与えています。JRは、この増発で大増収とも
なるのも事実です。地域住民の声に対して誠実に
向き合うことは最低限の責任ではないでしょうか。
ところが集会での町会会長からの報告では、JR
側は昨年11月に「説明は打ち切る」と一方的に
宣言、計画を押し進めるための環境アセスの実施
に踏み切りました。11月以後、住民への説明会は
行われていません。言語道断です。

地域への説明会を一方的に打ち切り

地域への説明会を一方的に打ち切り
以前も本ニュースで紹介した大崎短絡線問題。
地元の町会が中心となり、この計画の見直しを求める集会が12日、
大崎第二地域センターで開かれました。品川選出の2人の国会議
員、4人の都議、私も含め地元の区議も勢ぞろい。地域住民も60
人の参加で会場はあふれんばかりとなりました。

安藤たい作プロフィール '74年 宮城県仙台市生まれ33歳。'97年 国立宮城教育大卒。'98年 漫画家を志し上京、漫画家アシスタント。'02年 青年誌奨励賞受賞。大崎駅西口駐輪場改善運動に取り組む。4年の派遣労働経験を経て'06年の品川区議会議員補欠選挙で初当選し2期目。趣味/漫画・イラストを描くこと、キャッチボール。

安藤たい作ニュース は、「品川区議会における政務調査費の交付に関する規定」で定める用途基準「広報・活動費」に基づき、政務調査費によって発行されています。